

ロボット専用コントローラ

V-controller 3 [VS-C3]
 [VS-RCV3]

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。
 ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき安全にお使いください。
 合わせて、ロボット本体の取扱説明書などをご確認ください。

内容

- コントローラ本体 ×1 ●取扱説明書 (本書) ×1 ●受信モジュール ×1



警告

下記の注意を守らないと**火災・感電**による**死亡や大けが**の原因となります。

- 分解や改造をしない。
- 湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気の当たる場所には置かない。
- 内部に水や異物を入れない。
- 異常を感じたらすぐに使用を中止する。



注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

- 不安定な場所に置かない。
- 幼児の手の届かない場所に置く。
- 床に放置しない。
- ロボットの電源が入っている時にコントローラを放置しない。



健康のためのご注意 <振動機能について>

- 手や腕が疲れたり、不快感や痛みを感じたときはすぐに本機の使用を中止してください。しばらくしても治らないときは、医師の診断を受けてください。
- 本機を頭やひじ、ひざなど骨のある部分および顔や腹部など身体にあてて使わないでください。
- 骨や関節に疾患のある方は、振動機能を絶対に使わないで下さい。
- 指や手、手首、腕などを骨折したり、脱臼、肉離れ、ねんざなどを起こしているときは振動機能を絶対に使わないで下さい。振動によって症状が悪化することがあります。
- 本機を使って長時間遊ばないで下さい。目安として30分ごとに休憩を取って下さい。

省電力機能

- ・コントローラを、一定時間何も操作しないとスリープモードに入ります。
 未接続時:約30秒間
 接続時:約5分間
 ・スリープモードからは「START」ボタンで復帰します。

振動機能について

- ・本体裏面のVIBRATIONのスイッチで振動機能のON/OFFができます。



ご注意

振動機能をお使いになる前に「健康のためのご注意 (振動機能について)」をよくお読み下さい。

- イラストと、本製品は多少異なる場合があります。
- 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

商品に関するお問い合わせ

商品の技術的なご質問は、問題・症状・ご使用の環境などを記載の上、メールにてお願い致します。

E-mail : infodesk@vstone.co.jp

(申し訳ございませんが、お電話での技術的なご質問は受け付けておりません。)

●受信モジュールピン配置

本製品はPlayStation®のコントローラとある程度の互換性がある通信方式を採用しています。
 受信モジュールのピン配置は以下のようになっています。
 ※通信仕様の詳細については一切サポート対応しておりません。

1pin : NC	2pin : NC	3pin : DAT	4pin : CMD	5pin : SEL
6pin : CLK	7pin : +5~7v	8pin : NC	9pin : +3v	10pin : GND

オンラインショップ
ROBOT SHOP
 ロボット関連商品 NO.1の品揃え!
 www.vstone.co.jp/robotshop/ ロボットショップ 検索
 即日出荷可能! 10,000円以上ご購入の場合 送料無料 大量注文受付可能 数量にご相談ください。

Robot コミュニケーションサイト!!
LET'S★ROBOT

ロボットに関する最新サンプルモーションのダウンロード、動画などのコンテンツが満載!
<http://lets-robot.com/>

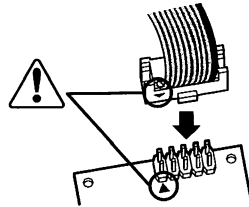
●使用上の注意●

- このコントローラは、ロボット専用です。本使用目的以外では使用しないで下さい。
- 破損・分解・加工行為はしないで下さい。
- 水に濡らさないで下さい。
- 高温多湿及び直射日光が当たる場所に放置しないでください。
- 受信モジュールの端子部分を直接手で触ったり、異物を入れないで下さい。
- 静電気を避け、曲げたり、投げたり、落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。
- 長時間使用しない場合は電池を取り出して下さい。

■準備

●受信モジュールの接続

受信モジュールをロボットに接続する場合、コネクタと受信モジュールの△印を合わせて接続してください。逆に接続すると、ロボット本体、受信モジュールが破損する恐れがあります。



●コントローラの電源

- ・コントローラ裏の電池ボックスのフタを開け、単4アルカリ乾電池3本、又は単4Ni-MH充電地3本を⊕⊖の向きを間違えないように入れて下さい。*マンガン電池は使用できません。
- ・コントローラ裏の電源スイッチをONにし、「START」ボタンを押すと起動します。(電源OFF時にスリープ状態でなかった場合、STARTボタンを押さなくても起動します)
- ・接続されていない状態では、MODE-LED、RX-LEDが点滅します。

●受信モジュールの電源

- ・ロボットの電源をONにするとパワーLED(PW、緑)が点灯します。
- ・接続されていない状態ではステータスLED(ST、赤)がゆっくり点滅します。

■ペアリング

- ・受信モジュールの「CONNECT」ボタンを1度だけ押すと点滅が早くなり、ペアリング待機モードになります。
- ・受信モジュールがペアリング待機モードの状態、コントローラの「ANALOG」ボタンを押すとペアリングします。
- ・ペアリングされ接続状態になると、コントローラのRX-LEDと受信モジュールのステータスLEDが点灯します。

●ペアリングの切り替え

- ・受信モジュールの「CONNECT」を押しながら、ロボットの電源を入れるとペアリング待機モードで起動します。(ステータスLEDはゆっくり点滅)
- この状態で「ANALOG」ボタンを押したコントローラと、新たにペアリングされます。
- ・受信モジュールは新たなコントローラとペアリングされるまで、以前のコントローラとのペアリング状態を記憶しています。

⚠️ ご注意

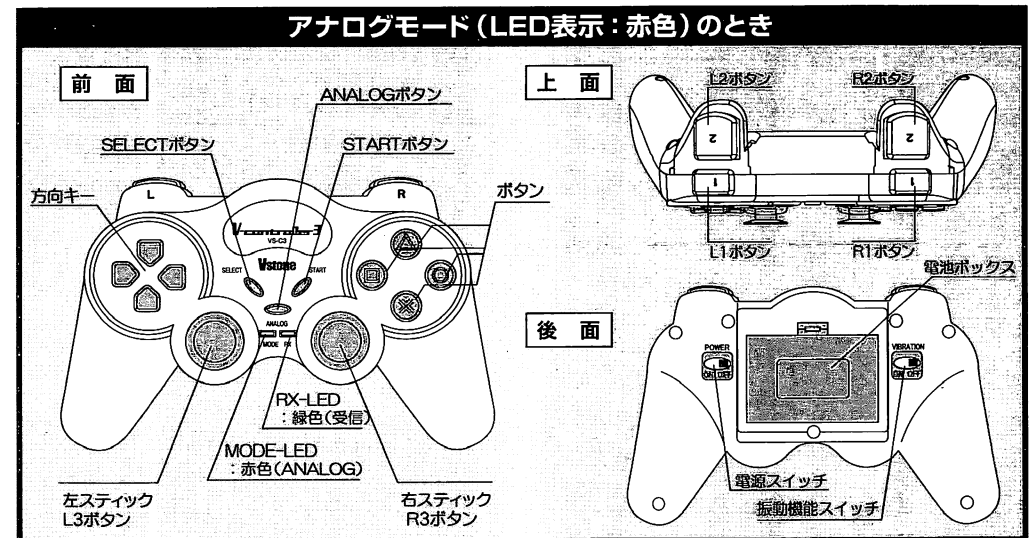
ペアリングを行う際は、周りのVS-C3を使っているロボットがペアリングをしていないか確認してから行ってください。2台以上のロボットが同時にペアリングを行うと、ご使用のコントローラが別のロボットとペアリングされてしまう可能性があります。多数のVS-C3ユーザーが近くにいる場合は、他のユーザーにペアリング開始を伝えてからペアリングを行うことをお勧めします。

■アナログスティックを使う

- ・ANALOGボタンでアナログスティック入力のON/OFFを切り替えることができます。

⚠️ ご注意

ご使用のロボットのファームウェアやバージョンによっては、ANALOGボタンの入力にかかわらずANALOGボタンが常時ONになっているものもあります。

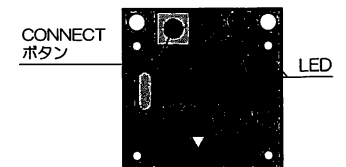


■受信モジュール、コントローラのLED表示について

●受信モジュール

- ・ステータスLED(ST、赤)
- 点灯…接続
- 点滅…未接続
- 早い点滅…ペアリング待機モード

- ・パワーLED(PW、緑)
- 消灯…電源OFF
- 点灯…電源ON



●コントローラ

- ・MODE-LED(赤)
- 消灯…アナログスティック無効
- 点灯…アナログスティック有効
- 点滅…未接続

- ・RX-LED(緑)
- 消灯…電源OFF
- 点灯…接続
- 点滅…未接続

